

今月のコラム

消費者との接点を見直す

株式会社ハクサン 藤原 雅志



ハクサンでマーケティングを担当しております藤原と申します。

突然個人的な話して恐縮ですが、現在、平日はハクサンで仕事をして、休日は大学院で経営学を学んでいます。講義はほぼ議論やプレゼンをする形式で、様々な業界、立場の方がおられ異種格闘技戦のような環境です。例を挙げるとAmazon、トヨタ、武田薬品、楽天、イケア、三菱重工、ボーイング、コンサル、税理士等々。平日は園芸業界のことを考え、休日は別の世界での思考を繰り返すという毎日で、外の世界から園芸業界を見る機会が増えました。

現在、各業界で大きく状況が変わっているのが「消費者接点」です。

小売の方は接点が多いと思いますが、これまでは販売する瞬間が最大の接点だったと思います。では買われたお客さんがその後どのように商品を使ったのか、良いと思ったのか、楽しめなかったのか、友達と一緒に使ってみたのか、もう二度と買わないと思ったのか、それを一人一人把握するのは難しいと思います。しかし、デジタル技術が急速に進み、スマホの利用者が日本でも8割を超えた今では顧客「一人一人」を正確に知ることが可能になってきています。スマホの利用時間の7割はアプリ使用らしいのですが、行動や時間だけでなく、愛着度などもデータ化されています。データの扱いについては議論がありますが、顧客の喜びや困りごとを正確に理解し、サービスレベルを向上させる方向に様々な企業が向かっています。買ってもらう一時点がゴールではなく、家族や友人と楽しんだり、ネット上で自慢したり共有するコミュニティがあったり、ファンがリアルな場で交流する等の経験を通じて次の購買に繋がるという循環です。

今までは製品カテゴリー毎、店舗毎の売上など企業の視点から見られていましたが、今後は顧客の一人一人の生涯売上という視点をより多くの企業が取り入れてくると思われる。顧客の時間とお金は業界をまたいで取り合うこととなりますので、園芸にも大きく影響してきます。

その中で園芸業界の事例として私たちも参加しているPW(植物の国際ブランド)は北米で先端のマーケティングを行っています。責任者はセミナーなどに引っ張りだこですが、彼は常に他の業界にアンテナを張り、自分に置き換えて実行し、多く失敗をして学んできました。その繰り返しです。今やフリーウェイを走っていたらPWの巨大な看板が全米で見かけられ、SNS上で数百万人のファンがコミュニケーションを図っています。

園芸は買った後の楽しみが多く、一人一人育ち方が違いますし、育つ喜びをSNSなどで分かち合うことができますので、デジタル時代にはむしろ適しているのではないかと思います。一昔前はマーケティングの多くが広告で、予算の大きい大企業が有利でした。今は知恵と工夫で様々なことができる時代に突入しました。私たちも消費者との接点を見直すことでできることはあるのではと思っています。



カエデ
kaede

2018 5 MAY. Vol.102

NPO法人ガーデンを考える会 会報

NPO 法人ガーデンを考える会 平成 30 年度通常総会・記念セミナー

特定非営利活動法人ガーデンを考える会では、平成30年度通常総会・総会記念セミナーを6月12日に開催いたします。セミナーは雑誌・テレビなどで活躍中の講師や専門分野の講師をお招きし、会員以外の方にも広くご参加を募っております。セミナー終了後には懇親会の席を設けておりますので、名刺・情報交換の場としてご活用ください。お誘いあわせの上、ご参加いただけますと幸いです。

【講師紹介】

バラの可能性



田中 綾華 氏
ROSE LABO 株式会社
代表取締役

埼玉県深谷市にて、農薬を使用しない「食べられるバラ」を栽培。自分たちで販路を開拓し、食べられるバラを飲食店に納品。ジャムやティーなどに加工をし加工食品の販売や化粧品の販売を行う。その中で感じたバラの力について。

暮らしを楽しむガーデニングについて

杉井 志織 氏

園芸家。建築を学んだ後、園芸の世界へ。都市の緑に人と園芸を取り入れたランドスケープガーデニングや庭の管理、企画、運営、花壇ボランティア運営の指導や花壇管理を行う。NHK 趣味の園芸講師。

活動を通じ、現状ではどのようなガーデニングが好まれ、どのような植物が人気なのか。人は、植物を通じて何と関わろうとしているのか。



花き産業の遺伝子組み換えの実態 GMOペチュニアの検査報告と今後について



磐城 伸之 氏
福花園種苗(株)
取締役

GMOペチュニア発覚から検査について現在までの報告、遺伝子組み換えの方法とプロモーター、農薬耐性遺伝子、仕入先諸外国種苗会社からのGMO植物混入、自然環境に対する影響、食の安全にかかわる二次加工品検査について。

日時 2018年6月12日(火) 13:00~14:00総会 14:00~17:20セミナー、17:40~19:00 懇親会
場所 セミナー：浅草橋共和会館 5階B室(東京都台東区柳橋1-2-10 TEL03-3862-8301)
懇親会：浅草橋ベルモントホテル(東京都台東区柳橋1-2-8 TEL03-3864-7733)
参加費 セミナー・懇親会 会員1社1名無料(会員2名以上 および非会員1名につきセミナー2000円・懇親会3000円)
申込み FAX：052-571-2208 TEL：052-571-7911 NPO法人ガーデンを考える会事務局



第3回フラリエみらい花フェスタ出展報告

中島商事(株) 右田 拓

4月12日(木)~15日(日)に名古屋栄にある久屋大通庭園フラリエにて開催された「第3回フラリエみらい花フェスタ」にNPO法人ガーデンを考える会として出展しました。

当日は豊明花き(株)、(株)花ごころ、(株)ハイポネックスジャパン、中島商事(株)の計4社にて、「世界のトマト大集合」という企画で約60種類480ポットのトマト苗の販売や、各企業商品PRを行いました。

心配していた天候もほとんど影響なく、期間中会場ではコケ玉作り体験や寄植教室、ガーデン講座、ガーデンライブなど各種催しも行われ、昨年同様大盛況のイベントとなりました。

イベントを通じ、消費者が園芸に対し何を求めているかを改めて考えることができました。この経験を今後の業界発展に活かしていきたいと思えます。



ガーデンを考える会では今年、ワークショップやセミナーなど会員様にご参加いただける企画を年間通して各地で開催してまいります。詳細決定次第おしらせいたしますので、ふるってご参加ください。



お知らせ

みどりの仕事に特化した新卒向け就活マッチングイベント

「みどりの仕事合同企業説明会」5月19日(土)開催 出展企業募集中!

新卒サイト「みどりの就活2019」ではみどりに関わる企業とみどりの仕事に興味がある新卒学生のマッチングイベント「みどりの仕事合同企業説明会」を5月19日(土)に開催いたします。(開催場所:東京青山)。

「みどり」をキーワードにしているため、その分野に興味がある学生が来場し、ミスマッチが少なくなります。昨年度は100名以上の学生が参加した「みどりの仕事合同企業説明会」ですが、今年度は、早稲田大学・京都造形芸術大学・東京農業大学・恵泉女学園大学などから来場登録をしていただいております。直接会って企業説明ができるチャンスです。

今年度のイベントは5月19日(土)開催のみとなります。ご検討はお急ぎください!

出展企業*サイト掲載ご希望の方は下記URLよりお問い合わせください。

●新卒採用サイト「みどりの仕事合同企業説明会」詳細 ◆<https://midori-shukatsu.com/contents/text/c111/>



園芸業界ニュース

種苗会社主催の 春の品種展示会シーズン始まる

関東各所で種苗会社主催の春の品種展示会が開催される。初夏～秋にむけての新品種・既存のイチ推し品種・試作品などを展示する。

*生産・流通・小売り関係者に向けた商談会。招待状もしくは事前申込が必須



- 5月21日(月)～24日(木)
 - ・高松商事『春の展示会 2018』
会場/高松商事試験農場 (茨城県坂東市幸田 1510)
- 5月22日(火)～24日(木)
 - ・ジャパンアグリバイオ ポットカーネーション品種展示会 2018
会場/大田市場花き部2階 (東京都大田区東海 2-2-1)
 - ・雪印種苗(株)ポットカーネーション内覧会 2018
会場/雪印種苗(株)千葉研究農場花き試験温室 (千葉市稲毛区芳賀沼原町 634)
- 5月23日(水)～25日(金)
 - ・ハクサン展示会 2018 千葉
会場/(株)タカハシプランテーション (千葉市緑区平川町 322-1)
- 5月23日(水)～25日(金)
 - ・ハルディン展示会 2018 春
会場/(株)ハルディン本社 (千葉県印西市竹袋 470-4)
 - ・SAKATA FLOWER PACK TRIAL 2018
会場/(株)ハルディン本社 (千葉県印西市竹袋 470-4)
 - ・第2回ローズ・トライアル
会場/京成バラ園芸(株) (千葉県八千代市大和田新田 755)
 - ・エム・アンド・ビー・フローラ パックトライアル 2018 春
会場/(株)エム・アンド・ビー・フローラ千葉農場 (千葉県印旛郡酒々井町墨 1538-6)

園芸業界ニュース

フラワートライアル大賞2018募集開始 出展社以外もコンテスト参加可能

八ヶ岳南西麓を中心とした植物生産地において9月25日～27日開催される展示商談会「フラワートライアルジャパン2018秋」内「フラワートライアル大賞2018」のコンテスト作品を、トライアル出展社に限らず園芸関係者から広く募集している。同大賞は、翌年のトレンドの指針として注目すべき優れた品種や園芸資材などを選定する。

カテゴリは①植物部門と②グッドプランニング部門で、②では植物に資材等を加えてデザイン性を高めたものや、現代のライフスタイルにマッチした新しい園芸関連の企画商品が対象となる。

審査はメイン会場の茅野市民館、審査員に長村智司氏((一社)フラワーソサイエティー会長)、阿川峰哉氏(趣味の園芸編集長)、井上盛博氏(オニツカバイオシステム店長)、ケイ山田氏(英国園芸研究家)、杉井志織氏(NHK趣味の園芸講師)、平井麻里氏(園芸ガイド編集長)を迎える。



2017年最優秀受賞カリブラコアティフォーシー'アンティーク'(ジオルディカワムラ)



人気投票グッドプランニング部門
最優秀チャコリウム(インパック)

申込締切7月31日。応募・問合せ先 ftjcontest@gmail.com

FAX: 03-6740-1459.

詳しい出品規定はHP参照。 ◆ <http://www.green-joho.jp/trial/>